



今年は猛暑日が続き熱中症警戒アラートが発令される日が昨年以上に多くありましたね。保育園では熱中症予防対策をとりながら水遊びなどをする事ができました。まだまだ暑くて寝苦しい日が続いていますが、子どもたちは元気いっぱい過ごしています。夏の疲れが出やすく体調を崩しやすい時期です。お子様の体調で何か気になることがありましたら受け入れ時にお知らせください。リズムを整えて元気に登園しましょう！



9月1日は防災の日

9月1日は「防災の日」です。保育園でも9月2日に引き取り訓練を実施させていただきます。いつ起きるかわからない自然災害について、あらためて考えてみるのはいかがでしょうか？「災害＝地震」というイメージが強いですが、最近では大雨による洪水、土砂災害も各地で増えています。普段から災害が起きた時のことを想定しておくことで、被害を最小限に抑えることができます。防災用品の見直しや避難場所の確認を家族みんなでできるとよいですね！



AED **設置場所**

緊急時に備え、
事務室前カウンターに
AEDを設置しています。

AEDとは、心臓が痙攣し、血液を流すポンプ機能を失った状態になった心臓に対して、電気ショックを与えて正常なリズムに戻すための医療機器です。操作方法を音声でガイドしてくれるため、使用しやすくなっています。



幼児クラスで嘔吐のお子さんが増えています。

8月下旬より幼児クラスでウイルス性胃腸炎やお腹の風邪と診断されるお子さんが増えています。嘔吐や下痢などの症状が見られた場合は保育園でも同様の症状のお子さんがある旨を受診する際お伝えください。

※ウイルス性胃腸炎と診断されましたら保護者記入の「感染症病状確認書」の提出をお願いします。

子どもが吐いたら……

ここを確認！

- おなかを痛がったり、下痢をしていないか？
- 食べすぎや飲みすぎはなかったか？
- 吐く前に食べたものは何だったか？
- 吐く前に頭やおなかを打っていないか？
- 熱はないか？

吐いた後ぐったりしている、機嫌が悪いなど、様子によっては急いで受診しましょう！

何度も吐き続けるときは……

- 食べ物や飲み物を与えず、安静にする
- 吐いたものが気管に入らないように、上体を起こすが、顔を横に向けて寝かせる

吐き気が治まったら……

- さゆや麦茶、野菜スープなどを、ひと口ずつゆっくり飲ませる

知っておこう

おう吐物の処理

ウイルス性胃腸炎はノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次感染予防のために嘔吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふき取る。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分を再度ふく。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると、熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。

